

猛暑に負けるな！
夏の100チャレ
特別企画

持続可能な社会創りを目指して 中山会計は「100チャレ」に挑戦中！ ～最新の取組み、中山会計の電力事情を紹介します～

税理士法人中山会計では、持続可能な社会創りに貢献するために、17のテーマ別目標に
応じた100種類のSDGsの活動にチャレンジしています。略して、「100チャレ」です。こ
の取組みは、北國新聞と北陸中日新聞にも取り上げて頂きました。（詳しくは、裏面の記事
をご覧ください。）SDGsの達成には、多くの皆さんのお力が必要です。
中山会計は、お客様のご事業に寄り添いながら、SDGs達成を目指していきます！

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)
「誰一人取り残さない」という考え方のもと、人種や性別、地域などを超えて地球上のみ
んながそろって幸せになることを目指す国連の目標。



税理士法人 中山会計
NAKAYAMA Tax Accountant's Firm

税理士法人中山会計は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援し
ています。

R3.08.01

中山会計最新の
100チャレ！

「脱炭素社会」の
実現を目指し、
CO₂排出量ゼロ
の電力
を利用しています！

どうやって？



(株)アイ・グリッド・ソリューションズ
が提供する電力プラン

「スマ電CO₂ゼロ」

を利用することで、

**年間19,526.77kgのCO₂削減
& 電気料コストの削減**

を実現しています。

普通自動車
日本横断178回分
のCO₂削減

スマ電CO₂ゼロとは

・太陽光発電による供給電気の利用により、CO₂排出量ゼロ
を実現

→ **脱炭素社会実現に貢献！**

・大手電力会社のCO₂ゼロプランでは上乘せされる「再生可能
エネルギー利用による環境価値分」を0円で提供

→ **電気料コストの削減可能！**

「スマ電CO₂ゼロ」電力プラン提供会社：

(株)アイ・グリッド・ソリューションズ



流通小売業を中心にご協力いただき太陽光を利用した再エネ由来の発電所を全国に
保有しています。「おなじコストを支払うなら、環境によいものを」をコンセプト
にお客さまへどこよりも安く・環境にやさしいCO₂ゼロ電気をアイ・グリッド・ソ
リューションズは、お客様にお届けしています。

ぜひ、みなさんも一緒にSDGsの達成を目指しませんか？

掲載新聞記事

令和3年6月7日付
北國新聞掲載

リサイクル傘

生地や骨交換可能

「ささんか」

SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを進めている税理士法人中山会計（有松2丁目）は、急な雨に困る人や来客に無償で傘を渡している。傘はリサイクル可能なプラスチック製で生地や傘骨を交換でき、環境に優しい。金沢弁の「ささんか」が傘の愛称で、「弁当忘れても傘忘れるな」と言われる地の必需品を通じ、SDGsへの理解を深めてもらう。

有松の会計事務所

「ささんか」はビニール傘メーカーのサエラ東京に制作を依頼。大きく60センチ傘骨など全ての部材がプラスチックでできている。一般的にビニール傘は1回しか使えないが、リサイクルして新しい生地や傘骨を交換できる。50本を注文し、青のマークなどが描かれている。

3分で張り替え
生地、傘骨のどちらも交換でき、張り替えに掛かる時間は3分ほど。風速15メートルにも耐えられる設計で、強風でも簡単には壊れない。愛称の「ささんか」は金沢弁の「傘を差したらささんか」にちなんだ。

中山会計では創業50年の2017年にSDGsの取り組みを開始。突然の雨に傘を持っていない人向けに昨年6月から、「ささんか」の配布を始めた。国道157号に面した事務所の近くには学習塾や小学校などがある。

ほかにもSDGs推進のため、「100チャレ」担当委員会を社内設立しており、現在は紙ストローやペーパー傘など33のチャレンスを継続して実施している。創業60年を迎える27年までに100のチャレンジ達成を目指す。

梅雨にかかる5月末から6月末までは傘を配布する強化期間としており、専務の小嶋純一さん（43）は「ささんかもお客さまも、今後も長く寄り添って付き合っていきたい。他の会社にも傘のアイデアが広まってほしい」と話した。

無償で渡し、SDGsを広げる

ささんかを手渡す従業員
＝有松2丁目の中山会計

100チャレやりがい持ち

SDGs「誰一人取り残さない」という考え方もと、人種や性別、地域などを超えて地球上のみならず、貧困をなくそう。すべての人に健康と福祉を。人や国の不平等をなくそう。など17のテーマ別の目標がある。SDGsは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略。

中山会計は「気候変動に具体的な対策を」への関心を高めようと、雨の日に顧客を車まで送る際などに使うオリジナル傘を制作。柔らかい樹脂製の傘骨はさびにくく、ビニールも張り替え可能で長く使える。大量のビニール傘が廃棄されている現状に、矢木宏和さんは「皆に興味を持ってもらおうと、従業員にアンケートを取り、愛称は金沢弁の「ささんか」（さしませんか）にした」と振り返る。

目標は「海の豊かさを守ろう」と⑧「陸の豊かさを守ろう」の実現につながるため、顧客が資料などを入れて持ち帰ったり、持参したりするのに用いるエコバッグを作製した。素材は不織布を採用し、プラスチックやビニールの消費量の削減につながる。さらに顧客に飲料を出す際には中山会計のキャラクター入りの紙ストローを使っている。

100チャレはすでに四十三の活動を展開しており、目標⑧「働きがいも経済成長も」に重なる試みが多い。SDGsの年限である三〇年に先立つ二七年に、百の活動の実行を目指すという、小嶋純一専務は「元々やっていた取り組みも、SDGsの視点から向き合うことで、皆がその良さを再認識できた。百に向け、思いや目的、やりがいを持って頑張っていく」と意気込む。

（高本啓平）

その名も「100チャレ」。税理士法人の中山会計（金沢市）はSDGs達成に向け、百種類の活動にチャレンジするプロジェクトを続けている。きっかけは二〇一七年十一月に開いた創業五十周年の記念イベントだった。半世紀にわたり事業を継続できたことへの感謝の念と、次の五十年への新たな決意。二つを足した「百」を目標に定め、持続可能な地域社会づくりに貢献しようと考えた。

とりわけユニークなのが「笑いヨガ」だ。毎年二―三月は確定申告の業務で繁忙を極め、従業員に余裕がなくなり、うまくコミュニケーションが取れないこともあった。そこで、この時期は朝礼で手をたたいたり体を動かしたりしながら腹の底から笑い声を出す。例えば、ハワイに帰って声を飛ばすイメージで「アローハハハハハ」。従業員が考えた百力を掲げる時間もある。目標

最重要目標

8 働きがいも経済成長も

中山会計（金沢市）

笑いヨガやビニール傘「ささんか」

「笑いヨガ」に取り組む中山会計の従業員。いずれも金沢市で

中山会計オリジナルのビニール傘とエコバッグ

1967年12月に創業。事業計画の策定や事業承継、確定申告、補助金・助成金の申請の支援などを手掛ける。インターネットのクラウド上で会計処理を行うクラウド会計ソフトの導入業務も担う。税理士7人、中小企業診断士1人を含め、従業員数は48人（2021年4月末時点）。本社は金沢市有松2。

令和3年8月3日付
北陸中日新聞掲載

まずは、
御社のCO₂排出量・電気料削減可能性
を計算してみましよう！



見積に必要なもの

1. 1か月分の電気明細
2. 12ヶ月分の電気代元帳

→中山会計でお預かりいたします。

お見積りの結果をご報告いたします

御社の現在のCO₂排出量は「」kgでしたが、
スマ電CO₂利用で「」kgに！
その差、なんと「」kg！

電気代は現在より「」円年間でお安くなりました